

MICROMA マイクロ持針器

*【警告】

1. 本品使用時及び取り外し時の感染に十分注意してください。[血液からの微生物感染の可能性があるため]
2. 本品は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄及び滅菌を行ってください。[本品は未滅菌で、再使用可能であるため]
3. 本品の滅菌にはオートクレーブ（蒸気滅菌）法を推奨します。

*【禁忌・禁止】

1. 本品に対していかなる改造も加えないでください。[本品の性能が維持できなくなるため]
2. 本品の動作に異常がある場合には使用しないでください。[思わぬトラブルの原因になるため]

**【形状・構造及び原理等】

1. 概要

先端部で縫合糸の把持を行う。
本品は未滅菌品である。

2. 形状と構造（形状例）



3. 原材料（血液等接触部位）

ステンレス鋼、チタン合金

*【使用目的又は効果】

手術縫合時に縫合針を把持するために用いる手術器具である。
本品は再使用可能である。

*【使用方法等】

＜使用方法＞

1. 本品は正しい手術手技の元に必ず取り扱うこと。
2. 本品に無理のかかる負荷はかけないこと。

【使用上の注意】

＜使用前の注意＞

1. 本品は未滅菌品であり必ず滅菌を行ってから使用すること。
2. 化学薬品や腐食物等との接触は避けること。
3. 本品及び全ての付属品の外観を確認する。汚れなどがある場合には取り除くこと。
4. 本品の機能が正常かを確認する。

＜使用時の注意＞

1. 使用目的（手術・処置等の医療行為）以外の目的で使用しないこと。
2. 折損、曲がり等の原因になり得るので使用時に必要以上の力（応力）を加えないこと。

＜使用後の注意＞

1. 使用後は、付着している血液、体液、組織及び薬品等が乾燥しないよう、直ちに洗浄液等に浸漬すること。
2. 塩素系及びヨウ素の消毒剤は、腐食の原因になるのでできるだけ使用を避けること使用中に付着したときには水洗いすること。
3. 清掃後は乾燥させてから組み立てを行い保管すること。
4. 電気メスを用いた接触凝固は、術者が感電、火傷をする危険があり、また、器具の表面を損傷するので、併用しないこと。

*【保管方法及び有効期間等】

1. 保管、移送の際には衝撃を与えないようにすること。
2. 保管にあたっては、洗浄をした後、腐食を防ぐために保管期間の長短に係わらず必ず乾燥すること。
3. 滅菌済みのものを保管するにあたっては、再汚染を防ぐため清潔な場所に保管するとともに、保管期間の管理をすること。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後は、できるだけ早く血液、体液、組織等の汚物を除去し、職業感染防止のために洗浄・消毒すること。
2. 汚染除去に用いる洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、適正な濃度で使用する。
3. 洗浄装置（超音波洗浄装置、ウォッシャー・ディスインフェクタ等）で洗浄するときには、製品同士が接触して損傷することがないように注意をすること。また、ラチェット部等の可動部分は開放して、汚れが落ちやすいようにバスケット等に収納すること。
4. 洗剤の残留がないよう十分にすすぎをすること。仕上げすすぎには、浄化水（濾過、蒸留、脱イオン等）を用いることを推奨する。
5. 洗浄後は、腐食防止のために、直ちに乾燥させること。
6. 可動部の動きをスムーズにするために、水溶性潤滑剤を塗布することを推奨する。
7. 使用（滅菌）前に、汚れ、傷、曲がり、歯の損傷、可動部の動き等に異常がないか点検をすること。
8. 点検後、セット・包装し、高圧蒸気滅菌をすること。なお、滅菌のためのセット、包装にあたっては、ラチェット部等の可動部は開放するなど、確実に滅菌できるよう配慮すること。
9. 強アルカリ/強酸性洗剤・消毒剤は、器具を腐食させる可能性があるため、使用を避けること。金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が損傷するので汚物除去及び洗浄時の使用はしないこと。

＜滅菌方法＞

本品は高圧蒸気滅菌（オートクレーブ）で滅菌すること。
滅菌条件：134℃、5 分で滅菌を行う。

**【主要文献及び文献請求先】

株式会社バイタル 企画薬事部

Tel: 03-3458-1261

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社バイタル

Tel: 03-3458-1261

外国製造業者：MICROMA Martin Alber GmbH & Co. KG

国名：ドイツ連邦共和国